これからのデジタルブックは
撮って読む。

デジタルブックを見たい時、今までなら、そのカタログが掲載されているWebサイトを検索したり、ブラウザにURLを入力したりといったことが必要でした。これではなかなか閲覧率があがりません。画像認識と連動させれば、画像を撮るだけで読めるので、面倒な手間がかからず興味を持ってカタログにアクセスしていただくことができます。

1 「ポスター」を撮影して詳細情報を得る

街角で見かけるポスターをアプリで撮影すると、そのポスターの商品カタログが読める。こんな「デジタルコンテンツと繋がるポスター」はいかがでしょうか。従来の“ホームページにアクセス”という案内から脱し、より閲覧者をひきつけるポスターが作成できます。

2 「パンフレット」を撮影してデジタルで持ち出す

店頭で欲しい商品のカタログを見かけたが、持ち帰るのが面倒…。そんな時にはそのカタログを撮影すれば、同じカタログがスマートフォンで読めるように! そんなことが当たり前になる未来はすぐそこに来ています!

3 「名刺」を撮影して会社概要を知る

営業で大切な名刺。そこにワンポイントのネタを仕込んでおくのは「売れる営業」の常套手段。画像認識で名刺を撮影すると自社商品のパンフや会社案内が読める! なんてネタがあれば、自社のPRにも弾みがつきます!

4 「雑誌」を撮影して特別付録ページを読む

雑誌を撮影すると動画や別冊付録が読める…なんてものがありますが、費用面で手がつけにくいのが現状です。MyPAGEViewならもっと気軽に、もっとローコストで提案できるため、出版会社もそれならやってみようかな…なんて気になるかも!?

5 「商品パッケージ」を撮影して説明書を読む

収納場所を忘れたり、無くしてしまいがちな取扱説明書。そんな説明書は、商品のパッケージや商品添付のシールなどを撮影すると読めるデジタルブック形式が大変便利。顧客満足度向上に一役買います。

らくらく簡単!
画像認識機能
の使い方

MPVを登録する

http://page-view.jp/xxxxx.html

公開URLができる

認識する画像とURLを登録して完成

このページをスマートフォンで画像認識すると、このフリーペーパーをデジタルブックで読むことができます。App StoreまたはAndroid Marketで「撮るBook」を検索してアプリをダウンロードしてください。▶▶▶▶▶

※App Storeは現在申請中です。